



①第五十二国立銀行跡

明治11(1878)年に誕生した国立銀行。子規の叔父である大原恒徳が支配人をつとめた。

②大原観山住居跡

子規の外祖父・大山観山は藩校明教館の教授をつとめ、廃藩後は私塾を開いて子弟の教育に余生を捧げた。長女は子規の母・八重。三男は松山市長をつとめた加藤拓川(恒忠)である。

③子規旧邸跡

子規が2歳から17歳で上京するまで過ごした住居跡。隣には、わが国最初の子規の歌碑が建てられている。

④子規母堂令妹住居跡

子規の母八重と妹の律が明治21(1888)年から東京に移る明治25(1892)年まで暮らした家の跡である。

⑤末広学校・正岡家墓地跡(法龍寺)

正岡家累代の墓は、この寺にあったが、昭和2(1927)年に正宗寺に移された。寺に設けられた寺子屋式の小学校である末広学校に幼い子規も通った。

⑥子規生誕地跡

子規は慶応3(1867)年9月17日この地で生まれた。